自動運転に係る業務受注実績

いち早く官民の技術開発プロジェクトに関与してきました。
豊富な経験・知見・技術を有しています。

発注元	受注業務内容	時期・期間
内閣府 /NEDO	SIP（自動走行システム：第１期）：自動運転・次世代都市交通の導入効果評価、実証実験運営（各種検証、関係機関調整）	2015年度～2018年度
	SIP（自動走行システム：第２期）： ・プローブデータ活用技術開発 ・臨海部での実証実験運営（検証項目検討、検証　等） ・臨海部でのインフラ整備支援 ・混在交通下での影響評価（交通流シミュレーション） ・地方部での自動運転の導入検討（サービス実証運営）	2019年度～2022年度
	SIP（スマートモビリティプラットフォーム：第３期）： モビリティのリ・デザインの実践やシミュレーションの開発・検討	2023年度～
国土交通省： 道路局、国土技術政策総合研究所 各地整、事務所	中山間地域等における自動運転実証・サービスに関する検証項目の検討、車両調達、リスクアセスメント、実証運営、受容性・ニーズ・手動介入等の各種検証（分析、考察、とりまとめ）、シミュレーション評価	2017年度～2022年度
	国内・海外動向調査、政策立案支援（道路空間検討、路車協調の仕組み・要件）、有識者検討会支援	2018年度～
	自動運転車のための路車協調システムの実証実験支援： ・センサ設置箇所検討 ・システム構成検討 ・センサ・システム調達 ・検証項目検討（走行安定性、社会受容性　等） ・実証運営 ・各種検証（分析、考察、とりまとめ）	2021年度～
国土交通省： 都市局、 物流・自動車局	郊外住宅団地、基幹的なバスへの自動運転技術導入に向けた政策立案支援、実証評価支援	2017年度～
	自動運転車の安全確保に向けたリスクシナリオ調査	2023年度
自治体	自動運転サービスの導入検討： ・ルート・ダイヤ、停留所の選定 ・事業推進体制の構築支援 ・実証実験計画（車両選定、運行内容）の立案 実装支援（ロードマップ検討、補助申請検討、走行空間整備検討） 自動運転サービスガイドライン策定	2023年度～
高速道路会社	自動運転車による交通影響評価（交通流シミュレーション）、ロードマップ検討、実証計画立案	2017年度～
民間	実証実験計画書作成、リスクアセスメント、補助申請検討、各種許可申請と関係機関協議	2017年度～2020、2024年度

2025年3月現在

パシフィックコンサルタンツ株式会社
〒101-8462　東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地（東京オフィス）
Mail：ad_support@pacific.co.jp（自動運転担当）

www.pacific.co.jp
承認番号　1350

Pacific Consultants
Producing The Future™

自動運転
導入支援サービス

私たちの目指す姿

少子高齢化や人口減少、バスの運転士不足など、地域公共交通を取り巻く環境が日々変化する中、運転士の担い手不足や運営コストの負担増等、さまざまな問題が発生しています。私たちは、そのための解決策として注目される自動運転サービスの社会実装を支援します。そして、都市部から地方部、中山間地域や離島まで、幅広い地域において、快適で安全なまちづくりを目指し、新たなモビリティ社会の姿を提案し、スマートな社会の実現を支援します。

主な支援メニュー

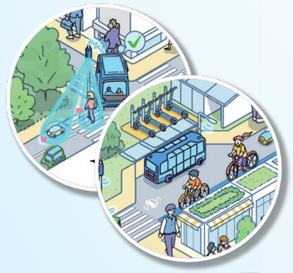
当社は、道路やまちづくり政策のプロとして、自動運転社会の実現に向けて取り組んでいます。単独での社会実験・実装から産・学・官連携での自動運転の技術開発まで実績を有しており、幅広い支援が可能です。

自動運転に関する政策立案や評価

レベル 4 自動運転に向けた施策の立案やリスク評価と、評価を踏まえた提案を行います。　例）導入ビジョン、公共交通計画の策定等

自動運転車両の導入支援

実証から実装まで、自動運転車両の導入に係る支援を幅広く行います。　例）試乗会や説明会の企画



自動運転支援インフラの設計

自動運転車だけでなく他の交通参加者も含め、安全に通行できる道路空間を検討します。

例）路車協調システムの構築、走行空間の確保に関する施策検討

駅前まちづくり・交通結節点の在り方検討

駅周辺を地域の中心として活性化させるために、公共交通、歩行者、自転車などの動線を最適化し、利便性の高い空間をデザインします。　例）駅前広場やバスターミナルの再編

パシフィックコンサルタンツの強み

計画から社会実装までトータルサポート

実証実験だけにはとどまらず、まちづくり全体の計画に即した社会実装までをトータルにサポートします。

多様な技術を束ねた総合力

デジタル、都市、交通、道路、PFI/PPP、環境等のさまざまな分野の知見を掛け合わせ、総合的なソリューションを提供します。

幅広い豊富な実績

これまで官民の多くの技術開発プロジェクトに取り組み、国や自治体、民間企業に対する豊富な業務実績と知見を有しています。

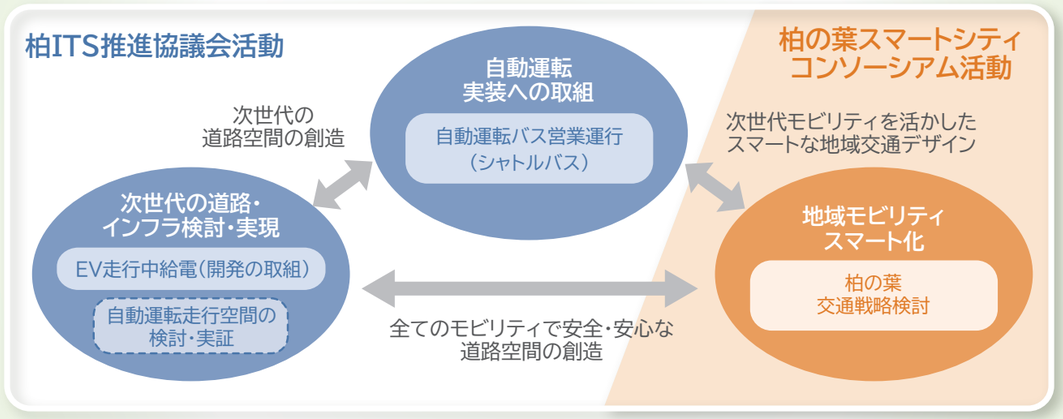
自動運転サービスの実装支援

当社は、公共交通計画の策定から実験準備や運営、事業化の支援まで、トータルでサポートします。前ページの「主な支援メニュー」のほかにも、各項目毎の支援も可能となるので、お気軽にご相談ください。
また、スケジュールに関しても、柔軟に対応させていただきます。

検討の項目	ご支援の内容
政策立案	・上位計画の作成、改訂案の検討 ・ビジョン、ロードマップ策定 ・自動運転導入の必要性検討
企画立案	・導入対象地域の課題整理 ・自動運転サービス内容（車両やルート等）の検討 ・実施体制・運行体制の検討・構築 ・需要予測・採算性の検討 ・社会受容性向上策の検討
実証実験	・検証内容・方法の検討 ・実証実験の運営 ・データ分析・検証
レベル2 実証運行	・レベル 2 実証運行の準備 ・手動介入低減策の実施及び効果検証
レベル4 実証運行	・レベル 4 本格運行を実施するための課題と対応策の検討 ・レベル 4 本格運行時の運行体制の構築 ・道路運送車両法、道路交通法上の手続
レベル4 本格運行	・継続的な計画の見直し ・収支改善策の検討

柏の葉キャンパス周辺での自動運転バスの導入

- 2019年 11月から現在まで、柏の葉キャンパス駅から東京大学柏キャンパス間でのレベル2自動運転シャトルバスが運行されています。（緑ナンバー）
- 当社は運営団体（柏 ITS推進協議会）の一員として、実装～運行を支援しています。また、レベル4自動運転に向けて、関係機関との調整や地域ニーズの把握、運行ルート、事業モデルの検討等の支援を行っています。
- さらに、柏の葉スマートシティコンソ―シアムの一員として、柏の葉スマートシティでの自動運転バスも活用したスマートモビリティの実現に向けた支援も行っています。



▲柏の葉での自動運転バスを中心とした取組

▲運行車両（中型バス）

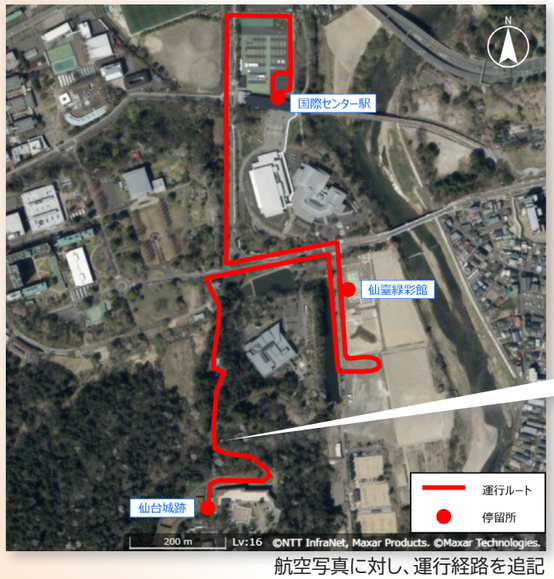
航空写真に対し、運行経路を追記

▲運行ルート

実施主体：柏ITS推進協議会（当社は幹事会員として参画）

仙台市 青葉山エリアでの自動運転バスの実証運行

- 2023 年度に手動での EV バス走行を、2024 年度に自動運転レベル 2での実証運行を行い、レベル4での実装に向けて検証を続けています。
- 当社は、仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会に参画するとともに、仙台市と自動運転実証に関する連携協定を締結し、継続的に実証事業を推進しています。
- 2024 年度の実証運行では、当社が本事業の統括を担い、仙台市や共同事業者との連携の他、実証の検証等を幅広く担いました。



航空写真に対し、運行経路を追記

▲運行ルート

▲運行車両（小型バス）

経営面	利用者数、支払い意思額、行動変容可能性、波及効果 等
技術面	自動走行割合、手動介入発生要因、バッテリーの過不足、定時性 等
社会受容性	普通の車両と比較した乗り心地、乗車した安心感、取組の認知度等

▲検証項目

実施主体：仙台市　共同事業者：パシフィックコンサルタンツ株式会社、A-Drive株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、宮城交通株式会社